

信州大学医学部付属病院 血液内科に通院・入院された患者様またはご家族の方へ当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

平成 27 年 12 月 日

「芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍」に関する観察研究を実施しております。

信州大学医学部医の倫理審査委員会の審査による医学部長の承認を得て、過去の臨床データを用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	
課題名	芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の分子病理学的検討
研究機関	信州大学医学部内科学第二
研究責任者	信州大学医学部内科学第二助教 中澤英之
研究実施期間	倫理委員会承認日～2018年3月31日
研究の意義、目的	芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍は極めて稀な腫瘍ですが、急激な経過をたどる予後不良疾患とされ、標準的治療が確立されていません。治療開発の遅れの一因として、その希少性と疾患概念の確立の遅れが挙げられ、この疾患に関する知見の蓄積は急務の課題です。芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の診療に携わる全国の病院が協力し、患者さんの検体およびデータを集計・比較検討して、至適治療方法の確立を目指します。
対象患者様	2018年3月31日までに当院で芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の診療を受けた方。
利用検体	診断時に実施したリンパ節生検や骨髄生検の検体を利用するため、新たに検査を受ける必要はありません
利用カルテ情報	年齢、性別、家族歴、症状、臨床診断、検査結果
その他	この研究はがん研究会がん研究所他と協力して実施されます。

既存の保存検体、診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へお名前や個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌で発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究に検体を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、下記のお問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

この研究でご自分の検体、診療記録の利用をお断りになっても、通常の診療などで不利益を受けることはありません。上記の研究期間中であれば、いつでもお断りいただけます。

お問い合わせ先: 信州大学医学部付属病院

担当者 血液内科 中澤英之 (電話: 内科学第二医局 0263-37-2634)